

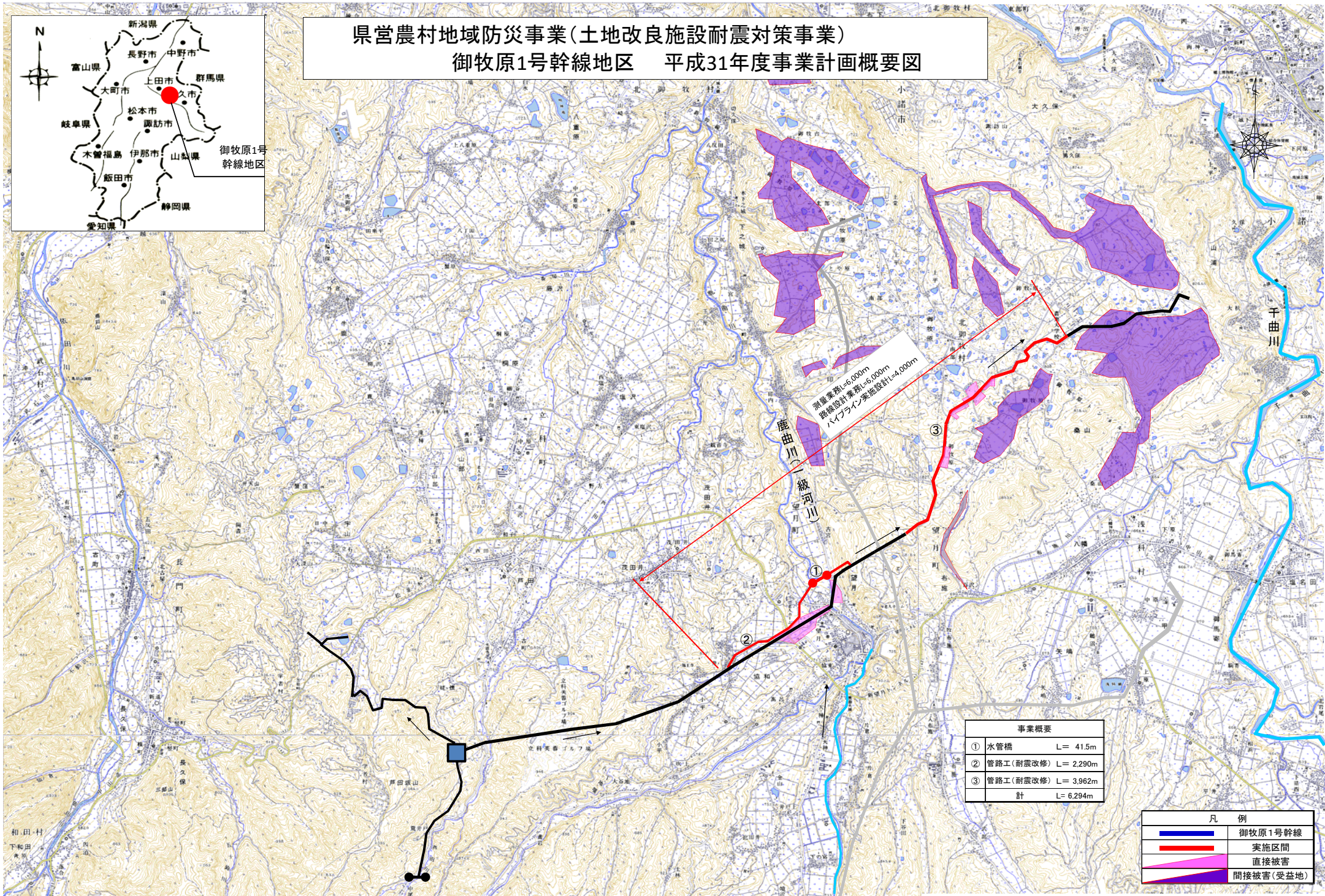
公共事業環境配慮書(案)

農政部 農地整備課

事業名称		
事業名	県営農村地域防災減災事業	
整理番号	R2-5	
事業の種類	かんがい排水施設の新設及び更新	
市町村名	小諸市、佐久市、東御市	
箇所名	(御牧原1号幹線地区)佐久市、小諸市	
事業年度	令和元年度～令和7年度	
事業概要		
目的	管水路施設の整備を行い、防災対策及び農業経営の安定を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	管水路工 L=6,294m	
関連する事業計画	県営かんがい排水事業 立科幹線地区、立科幹線2地区、立科3号幹線	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	管水路施設が、国道142号を横断し、周辺に望月市街地がある。	
土地利用の現況	市街地である	
生活関連施設の現況	周辺に川西赤十字病院がある	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできるだけ避ける。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
【騒音、振動の防止】		
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできるだけ避ける。		
・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。		
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
【悪臭の防止】		
・想定される影響はない。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川に隣接する
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	【水循環の保全】	
	・水田や地下水・湧水を保全する。	
・掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である 碎屑物である グライ土である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	小諸市、佐久市、東御市農村環境計画における優良農地保全ゾーンである平成30年11月に環境配慮対策について打合せを行った。 カワネズミ、オコジョ、モモンガ、ヤマネの生息が確認されている。
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできるだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	
	・進入防止柵を設置し動物の侵入を防止する。	
	・工事機械を搬入する際に、機体の汚れがないか確認し、外来植物が侵入しないように留意する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
・想定される影響はない。		
【地域独自の生物多様性の保全】		
・想定される影響はない。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・想定される影響はない。		
景観	留意すべき地域の概況	立科山を眺望できる位置である
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	鹿曲川(水辺)がある
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。		
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
【エネルギーの有効利用】		
・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【光害への配慮】	
・想定される影響はない		

県営農村地域防災事業(土地改良施設耐震対策事業)
御牧原1号幹線地区 平成31年度事業計画概要図



測量業務約6,000m
路線設計業務約6,000m
パイプライン実施設計4,000m

事業概要	
① 水管橋	L= 41.5m
② 管路工(耐震改修)	L= 2,290m
③ 管路工(耐震改修)	L= 3,962m
計	L= 6,294m

凡例	
	御牧原1号幹線
	実施区間
	直接被害
	間接被害(受益地)